

第2次総社市総合計画 実施状況

平成29年10月

総社市総合政策部政策調整課

【基本目標 1】	だれもが住みたくなる総社	満足度	3.4(3.4→)	重要度	4.2(4.3↓)
[転入超過数(5年間平均)] 当初値:155人/年 ⇒ H28確定値:476人/年(H29現況値:226人/年) ⇒ H32目標値:年平均200人以上					
【重点推進施策】	子育て	満足度	3.5(3.5→)	重要度	4.4(4.5↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○待機児童を3年以内に‘ゼロ’に	3.3 (3.2↑)	4.3 (4.3→)	転入者数	2,173人 (平成25年)	2,562人 (平成28年)	1,043人 (平成29年8月末)	2,500人	利用者支援事業(特定型及び母子保健型)によるワンストップ拠点 H28～ H29 コーディネーター配置	3,730	3,749	母子保健型:対応者数1,342人	保護者への子育て支援のための適切な情報提供が行える専門職員として、保育コンシェルジュ(1人)や母子保健コーディネーター(1人)を配置した。	妊娠期からの関わりを重視する事により、妊娠・出産・育児に関する困難事例への関わりが増加しているため、保健・福祉・教育分野の更なる連携が必要である。
○妊娠前から子育て期をワンストップで支援	3.3 (3.2↑)	4.2 (4.2→)	出生数	564人 (平成26年度)	573人 (平成28年)	237人 (平成29年8月末)	646人	病児保育利用支援の拡充 H28～ H29市外利用	8,714	9,013	登録者数419人 利用者数延べ522人	こども課での申請が不要となったこと、また平成29年4月1日から、岡山県病児保育広域相互利用制度がスタートし広域での病児保育が可能となったことにより、より利用しやすくなった。	まだ病児保育を知らない方もいるので、広くPRしていく必要がある。
○支援が必要な子どもを応援	3.2 (3.1↑)	4.4 (4.2↑)	待機児童数	50人 (H27.10.1現在)	27人 (H28.4.1現在)	0人 (H29.4.1現在)	0人(H30年まで)	子育て王国のまちづくり事業「子育て王国そうじゃ」まちづくり実行委員会 H28～	1,500	1,500	「チュッピータウンへいこう」や「農業体験講座」等、親子で参加できる事業を開催した。	より良い子育て王国のまちづくり事業を実施するため、今後の組織体制と事業について話し合いをしている。	実行委員会の母体組織である「まちづくり応援団」が平成29年度で解散することが決まり、実行委員会自体の今後の体制について話しをする必要がある。
			子宮頸がん検診(HPV検査)の受診者数	-	216人	87人	350人	小児医療費支給事業 H28～	275,224	249,903	子どもにかかる医療費の一部(小学生までの通院・入院、中学生の入院)を公費で負担した。	保護者に対して医療機関への適正受診、「手洗い・うがい・歯みがき」等、基本的な生活習慣での病気の流行の予防啓発を行ったが、平成28年度は過去最高額の医療費となった。	無償化の拡大、今後の目標数値、制度の内容について総社市医療費適正化推進委員会等で協議する必要がある。
			子育てしやすいと感じている人の割合(市民アンケート数値)	-	48.9%(満足・どちらかといえば満足)	51.9%(満足・どちらかといえば満足)	80%	児童発達支援事業 H28～	1,327	1,340	総合検診(年5回)受診者数49人 PEC(年49回)参加者数556人	PECは、年々参加者数が増えており、2グループで行っているが、1グループの人数が10人を超えている状況。総合検診は就学前の受診が増えている状況。	PEC、総合検診は年々ニーズが高まっており、適切な指導、相談になるよう、はばたき園や旭川荘のスタッフとの連携が重要になってきている。
								放課後児童クラブの充実 H28～	98,913	6,033	平成29年4月定員増に向けて、常盤小学校区(30名増)と山手小学校区(20名増)における施設整備を行った。	4月からみどり保育園(定員19名)に放課後児童クラブの事業を委託している。総社中央小学校区の定員増(30名増)に向けて施設増設を行う予定。放課後児童支援員等処遇改善加算事業(賞金改善経費の上乗せ)を実施中。	待機児童が今後発生しないよう、運営委員会と協議しながら受入態勢を整える必要がある。
								認定こども園整備事業 H29～H31	-	35,000	-	平成31年4月開園に向けて、基本・実施設計を行っている。	待機児童の解消につながるよう平成31年4月開園に向けた工事を着手する必要がある。
								幼稚園預かり保育の充実 H28～ H29 エアコンの設置(総社、常盤、服部、総社北)	354	3,000	預かり保育室のカーテン未設置の5園に設置した。(総社、井尻野、総社北、総社南、久代)	預かり保育の利用者が増えており、実施園8園中3園に対してエアコンを設置した。(総社、常盤、総社北)	預かり保育を充実させることで、待機児童の解消へ繋がることから、実施園にエアコンの追加設置及び、預かり保育指導員の確保が必要である。
								保育所新設助成 H28～H29 第二太陽保育園、みどり保育園 H28 建設費 H29 運営費	140,096	173,210 (繰越) 134,045 (H29)	平成29年4月開所に向けて新設する保育所(90名増)とみどり保育園の増改築(30名増)を整備するための助成を行った。	保育所の施設整備の助成をしたことで、定員を増やすことができ、4月には待機児童ゼロにすることができた。	利用者が増え、民間保育所への運営費が増加していく。保育士不足により利用希望者の受け入れを制限せざるを得ない状況であるため、保育士の確保策が必要である。

【重点推進施策】 社会保障(高齢者・障がい者など) 満足度 3.2(3.2→) 重要度 4.4(4.5↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値							H32目標値
○独居高齢者の孤立を防ぐ	3.1 (3.0↑)	4.3 (4.4↓)	雪舟くん1日平均乗車数	229人 (平成26年度平均)	213人 (平成28年度平均)	218人 (平成29年度4~8月平均)	250人	新生活交通「雪舟くん」の利便性向上 H28~	96,567	71,391	車両9台を更新(31,915)	乗車数を増やすために、タクシー車両を利用した応援車両の運行方法を変更して、予算の範囲内での増車に努めている。	交通事業者との調整を図りながら、高齢者を中心とした利用者ニーズに対応していく必要がある。
○高齢者のケア・見守りの強化	3.1 (3.0↑)	4.4 (4.3↑)	認知症サポーターの数	2,538人 (H27.3.31)	4,818人 (H29.3.31)	5,032人 (H29.8月末)	6,000人	郵送型健診(スマホdeドック)の実施 H28~	1,067	1,676	KDDIへ事業委託。 申込者138人(申込率:7.4%) 市業務時間外の申込55%以上 検査数111人(実施率:80.4%) 有所見者:男性96%,女性76% 検査結果の閲覧数が多い。 複数回結果の閲覧者66% 若年世代も多くの方が有所見者であり、生活習慣を正す必要があること、定期的な健康チェックが望ましい傾向であった。	7月:対象者へ案内を送付。 7月~2月:申込後、検査キットが自宅に送付。 10月:再勧奨通知予定	申込人数が予定数350人(申込率:17%)よりも随分低い。特に20代前半は男女とも低い傾向にある。また、健診を受ける際に負担となっていることについては、費用がかかることや、結果が悪い程、忙しくて健診を受ける時間が調整できないことを回答されていた。 若い世代への健診受診働きかけ等、さらに検討していく必要がある。
○雪舟くんの利便性強化	3.3 (3.2↑)	4.1 (4.1→)	いきいき百歳体操の実参加者数	1,925人 (H27.3.31)	2,110人 (H29.3.31)	2,148人 (H29.8月末)	2,800人	健診(検診)の充実 H29	0	3,340	-	6月から胃・大腸・肺がん検診を個別医療機関で実施している。 6~8月受診者数 胃がん34人、大腸がん76人、肺がん59人	受診者が増加するよう周知を強化していく。
○切れ目のない介護と医療体制をつくる	3.0 (3.0→)	4.4 (4.4→)						権利擁護事業 H28~	7,422	7,422	実相談人数 219人 支援検討件数 16件	相談件数も増え、権利擁護センターの認知度は高くなっている。 支援検討委員会は毎月1回開催し、困難事例の調整や解決策の協議などを行っている。その他の専門委員会についても、実態把握や支援のしくみなどについて、検討・協議を行っている。	認知症高齢者などが成年後見制度を利用するケースは増加傾向にあり、市民後見人の養成・確保の必要性が高まっている。
○障がい者の支援の充実	3.2 (3.1↑)	4.2 (4.2→)						生活支援体制整備事業 H28~	6,738	21,017	社会福祉協議会へ事業委託し、生活支援コーディネーターを1名配置。 生活支援サービス検討委員会(第1層協議体)を年間2回開催し、総社市における生活課題である①移動 ②買物 ③居場所 ④担い手 ⑤見守り ⑥空き家について検討部会を設置し、検討していくことが決まった。 平成28年度介護予防・生活支援サポーター養成講座を7/11~8/4全6回講座を開催。 82名が修了(※H27は45名) 総合事業の住民主体の活動を『にここサポート事業』とし、講座受講者127人のうち92名が登録。	生活支援サービス検討委員会はH29.6.2に実施。移動や配食について検討を開始している。 にここサポート事業は、地域包括支援センターからの連絡を受けて生活支援サポーターがマッチングし、H29年度から活動開始している。 フォーラムを12/9開催予定。 H29も介護予防・生活支援サポーター養成講座を10/3から11/24にかけ4圏域においてそれぞれ開催予定。	6つの地域課題の中で検討に着手できていないものもあり、今後の事業の進め方の検討が必要。 にここサポート事業については、地区により、サポーター数に偏りがありマッチングが難しい。
○元気でいきいき!健康寿命を延ばす	3.2 (3.2→)	4.1 (4.1→)						高齢者住宅等手すり・段差解消支援事業 H28~	1,989	5,000	24件	11件の申請あり(H29.9.26現在)	平成28年度から新規事業として実施したが、申請数は伸びてきている。 引き続き制度周知に取り組んでいく必要がある。
								要援護者等見守り台帳整備事業 H28~	8,439	1,685	H28にシステム導入。地域が持っている紙ベースの情報(ひとり暮らし、見守り台帳)と障害者、認定者の情報を一元化した。危機管理室へもパソコン設置。	消防へパソコン3台設置。 システムを活用して危機管理室が作成した避難行動要支援者名簿を平時の見守りにも活用するための同意文書について21地区の小地域ケア会議へ説明に回った。 65歳以上の高齢者名簿を8月から小地域ケア会議で民生委員へ配布。 見守り台帳の更新に活用していただくとともに地域が把握していない人等の情報から制度の狭間の方について検討していく。	より使いやすいシステムとなるように、調整が今後も必要。 地域からの情報を適宜更新していく仕組みをつくり、見守り活動に有効に活用していくことが必要。今後は制度の狭間の方へのサービスを検討する必要がある。
								認知症対策事業 H29~ 認知症カフェ、ココセコム GP S	-	8,009	-	H28に認知症カフェ8か所立ち上げ。 ココセコム貸し出しはH28年度末で終了(9人)H29~「認知症見守りGPS購入費等助成事業」開始したが、9月現在まだ助成なし。 認知症カフェについてはH29~開設助成を開始。現在3箇所から申請あり。	広報による更なる周知が必要。

事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
高齢者世帯配食サービス事業 H29～	—	7,560	—	高齢者の栄養確保と安否確認のため、7月～事業所数を6、メニュー数を21種類に増やし、8月末で延べ836食 74人(H29.9.15時点見込み)が利用。	ひとり暮らし、高齢者世帯以外からの配食の希望やより生活スタイルに応じた対応が可能か検討が必要。
H28 地域医療介護総合確保基金事業	131,790	—	介護施設整備 グループホーム 1件 特養ユニット化改修 2件	—	—
～H28 地域集会所建設費補助金	1,790	—	【H28実績】増築1件、冷暖房設備2件、バリアフリー工事7件	—	—
H28 地域医療体制整備事業	100,000	—	救急医療の提供ができる医療施設の整備(新築、改築、医療機器整備)に対して、補助金を交付。 医療機関 1件	—	—
～H28 いきいき百歳体操啓発・推進	3,248	—	いきいき百歳体操会場140箇所(H29.3.31)で2,110人が取り組んだ。	—	—

【重点推進施策】

住宅・生活基盤

満足度

3.6(3.5↑)

重要度

4.3(4.4↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)				事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値							H32目標値
○吉備線をもっと便利に	2.9 (2.9→)	3.9 (3.9→)	宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(H29都市計画基礎調査後に 数値確定)	1,505ha	吉備線LRT化に伴う計画策定 H28～	4,085	10,948	吉備線LRT化によるネットワーク形成計画案を作成し、LRT化基本計画素案に繋げるものとした。	LRT化にかかる3者協議の進展及びLRT化整備に係る国からの補助金を得るための計画を検討している。	LRT化整備にかかる補助金を得るためには、事業計画の国からの認定が必要となる。	
○市街化区域の再活性化	3.0 (2.9↑)	3.9 (4.0↓)	統一されたデザインによる 街路灯の設置	-	14基 (平成27年度)	14基 (20基施工中)	70基	夜間ピカピカ大作戦 H28～H30	5,163	30,000	市役所通り及び中央文化筋の老朽化した街路灯をデザイン灯に更新し、合わせて周辺のまちなみ整備を行うため、環境空間デザイン設計の業務委託を行った。	H28で行った業務委託に基づき、中国銀行から市役所間に街路灯を20基設置する。H29.7.20工事請負契約締結済。	計画的な事業実施のための事業費の確保。
○夜間ピカピカ大作戦	3.0 (2.9↑)	4.1 (4.1→)						防犯灯設置	3,189	7,700	清音三因支線3053号道、県道倉敷美袋線沿いなど51基設置した。	防犯灯の設置について、地域間を結ぶ幹線道路や通学路等は、市で設置管理している。	地域要望に対応するため、経常的な予算の確保が必要となる。
○南北道を始めとした道路整備	3.1	3.8						冠水標示板設置 H28～H29	17,204	10,000	門田小寺地下道に冠水警報装置を設置し、あわせて老朽化した発電機の取替えを行った。	地下道3ヶ所に冠水表示板を設置し、あわせて老朽化した発電機の取替を行う。	近年多発するゲリラ豪雨への対応
								橋りょうの点検及び長寿命化計画策定等 H28～ 修繕費用含む	37,822	55,000	橋梁点検 205橋 橋梁長寿命化計画策定 212橋	市道橋827橋の定期的な点検を実施し、劣化箇所の修繕を順次行う。	事業費の確保
								横断歩道橋点検及び修繕計画策定 H28～H31	5,476	8,000	横断歩道橋点検(吉備路ふれあい橋) 1橋	横断歩道橋3橋の定期的な点検を実施し、劣化箇所の修繕を順次行う。	事業費の確保
								シェッド(洞門)点検 H28～H29	-	1,000	-	シェッド(洞門)2橋の点検を実施する。	事業費の確保
								舗装の長寿命化計画策定及び修繕 H28～	40,586	44,000	舗装長寿命化計画策定 284路線 延長256,630m 舗装修繕工事 4路線 1070.5m	路面の詳細調査に基づき長寿命化計画を策定し、適切な舗装修繕を実施する。	事業費の確保
								転落防止柵設置 H29～H33	16,834	20,000	885.4m設置	警察の指摘及び地元要望から危険箇所を把握し、順次防護柵を設置する。	事業費の確保
								溝口踏切拡幅事業 H29～	-	5,000	-	概略設計をもとにJR・井原鉄道・交通規制課協議中。延長・幅員:L=70m W=5.0(9.5)m	関係各機関との踏切道前後の交差点協議が必要。
								総社駅南地区土地区画整理事業 H28～H30	563,774	389,000	第2期出来形確認測量及び換地計画(案)等の作成を行った。また、保留地を約650㎡売却した。	平成28年度で事業計画(第4回)変更を行い、平成29年度から換地計画縦覧、認可後に換地処分の通知を行っていく。	事業開始から25年が経過し、早期の事業完了が求められている。
								住宅耐震改修事業 H28～	2,236	2,100	木造住宅耐震診断(補強)12件 一般建築物1件	総社市建築物耐震改修促進計画に基づき、戸建て住宅等の所有者に対し耐震化のための啓発を進めている。	地震が少ない地域のため、市民の意識として耐震化の機運が高まっていない。
								浸水対策事業 H28～ 中原雨水幹線改修工事	7,283	10,000	平成29年度からの中原雨水幹線改修工事に係る用地買収を実施した。	平成28年度で中原雨水幹線を用地買収し、平成29年度以降は、単市事業を含めて、雨水渠の整備を実施し、市街地の浸水防除を行っていく。	事業費が、かなり見込まれる上に、住宅化が進み、工法等事業計画の見直しも検討。
								水質保全下水道事業 H28～	89,888	364,800	総社下水道処理場の更新工事及び富江ポンプ場の実施設計、処理場と山手のネットワーク管理設工事を実施した。	総社下水道処理場や各中継ポンプ場の経年劣化による老朽化に対応するため、順次改築更新を進めている。	今後も、計画的に施設更新は行っていくが、施設の老朽化に伴って、事業費が、かなり見込まれる。
								未普及解消下水道事業 H28～	31,076	55,000	井尻野汚水管埋設、井手第2マンホールポンプ新設工事、公共下水道事業計画変更設計業務を実施した。	現行は、井手周辺を整備しており、その後は、市街化区域の中で公共下水道が未普及の地区について順次整備をしていく。	現事業計画区域の整備完了までに約12～15年程度見込まれる予定
								東部水源系施設統廃合事業 H28～	235,685	226,000	小寺配水池送配水管布設工事及び電気計装設備工事、東部幹線、総社・一宮バイパス配水管布設工事を実施した。	施設の統廃合に向けて、配水池築造及び送配水管の布設等関係工事を進めている。	事業完了まで15年程度の間にも多額の事業費が見込まれる。
								石綿セメント管更新事業 H28～	86,570	67,000	中原、井手外(県道水別総社線)、中央二丁目外(国道180号横断)、駅前一丁目外(国道180号横断)配水管布設工事を実施	石綿管路延長が残り約700mとなっており、引続き石綿管解消に向けて順次更新していく。	-

【重点推進施策】 **移住・定住促進** 満足度 3.4(3.4→) 重要度 3.9(4.0↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○結婚を応援	3.0 (3.0→)	3.7 (3.8↓)	カップリングパーティ参加者のうちカップル成立数(累計)	11組 (平成26年度)	42組	50組	70組	空き家活用事業 H29～	-	3,044	-	そうじゃ空き家百選を開始し、物件の登録申請の受付から移住・定住者に向けたPRを行っている。	登録物件を増やすため、周知啓発及び調査を実施しなければならない。
○移住・定住を促進	3.1 (3.1→)	3.7 (3.8↓)	結婚活動事業参加者の成婚者数(累計)	0件 (平成26年度)	5組	9組	20人	定住促進事業 H28～	3,022	10,996	対象地域を拡大し、教育特区とあわせて人口増加に向けて助成を行った。	引き続き助成制度の周知啓発をおこなうとともに、昭和地区へのアテンドを昭和暮らしプロジェクトとともに実施している。	市街地への移住希望者に向けた取り組みを検討していかなければならない。
			移住相談等の施策により移住した件数(定住祝い金対象)(累計)	2件 (平成26年度)	15件	21件	75件	婚活事業 H28～	358	610	体験型や屋外イベント方式で開催し、成婚カップルも誕生した。	年2回の婚活イベントと新たに関係団体等と連携した企画の実施やバスツアーの開催を予定している。	参加者がイベント参加後に結婚活動を引き続き行っているか把握が困難な状況にある。

【重点推進施策】 **防災・消防** 満足度 3.3(3.3→) 重要度 4.1(4.2↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○東日本大震災から学び、災害に強いまちにする	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	自主防災組織率の向上	50.1% (H27.4.1)	69.7%	96.8% (H29.9.1)	70%	防災行政無線(移動系)整備事業 H29 実施設計 H30～H31 整備工事	0	11,000	-	今年度実施設計業者が決まり、来年度の工事着工に向けて設計内容を協議中。	どのようなシステムを構築させるのか検討する必要がある。
○大震災時の支援拠点となる	3.1 (3.1→)	4.1 (4.2↓)	防災啓発事業の実施	年2回 (平成26年度)	年8回	年2回	年20回	災害時における備蓄品購入 H29	0	10,000	-	岡山県が定めた目標備蓄量を充足できるよう、現在調整中。	ライフライン断絶に備え、各地に備蓄倉庫を設けるよう、分散備蓄に努めている。
								大規模災害被災地支援 H28～	5,744	10,000	熊本地震、鳥取地震、糸魚川火災の際に、物資調達、避難所運営などの災害支援を行った。	九州北部豪雨豪雨の際に、朝倉市へ物資調達等の災害支援を行った。今後も継続して大規模災害被災地の支援を行う予定。	災害支援の際に災害協定締結先と支援内容等事前協議が必要。(AMDA, ビーク・エイド等)
								秦地区排水対策事業 H29～	-	26,000	-	現地踏査・雨量観測・流量計測が完了し今後の排水対策計画策定に向け雨水流解析を実施中。	近年の異常気象に対応する為、慎重に整備計画を検討する必要がある。
								準用河川国府川改修事業 H28～	36,621	38,000	河川改修に伴う橋梁改修工事の内、橋梁下部工(橋台)工事の実施。	橋梁上部工L=18m W=5.0m及び取付け道路の施工中。	スイゲンゼニタナゴの生息調査や埋蔵文化財の発掘調査、予算措置も影響し事業が長期化している。
								消防機庫新築工事 H28～	6,110	5,910	池田分団第4部、日美分団第1・2部消防機庫を新築した。	秦分団第4部消防機庫及び富山分団第1部消防機庫の移転先用地を購入・造成を年度末までに完成予定。	老朽化した消防機庫が多数あり、更新計画等検討する必要がある。
								小型動力ポンプ H28～	4,968	5,570	総社分団5部、常盤分団第4部、服部分団第2部、清音第2分団3部-2のポンプを更新した。	石油貯蔵施設立地対策等交付金を活用し、ポンプ4台を更新予定。	購入後20年以上経過しているポンプが多数あり、整備計画を検討する必要がある。
								消防車両整備事業 H28～	-	73,000	-	高規格救急自動車1台、消防ポンプ自動車1台を更新予定。	消防車両の更新は、安全性、老朽度並びに稼働状況等の車歴を加味して総合的に考慮し、計画を策定しているが、更新が遅れている。
								AED設置事業 H29 消防から遠方コンビニ(山手、清音、池田、服部)	-	580	-	消防から遠方のコンビニエンスストア5箇所にAEDを設置した。	今後、設置要件に該当した新店舗のエリアマネージャーとAED設置について協議の必要がある。
								AEDマップ作成事業 H29	-	760	-	市内約140箇所のAED設置事業所を記載したマップを広報そうじゃ7月号で各家庭に配布した。	最新の情報が反映されないため、更新時期について協議の必要がある。
								防火水槽整備事業 H28～	5,660	3,000	辺地対策事業として、延原に防火水槽を新設した。	既設防火水槽2箇所(久代、見延)の有蓋化を実施した。	既設防火水槽で老朽化による漏水対策及び有蓋化を進める必要がある。
								水道消火栓整備事業 H28～	1,985	2,400	国道180号線バイパスに消火栓1箇所を新設し、市内既設消火栓6箇所を改修した。	国道180号線バイパスに消火栓3箇所を新設予定。	老朽化による改修を進める必要がある。

【基本目標 2】 **だれもが働きたくなる総社** **満足度 3.3(3.2↑)** **重要度 4.1(4.2↓)**

[総所得金額] 当初値:805億円/年 ⇒ H28確定値:821億円/年(H29現況値:839億円/年) ⇒ H32目標値:840億円/年

【重点推進施策】 **雇用** **満足度 3.3(3.2↑)** **重要度 4.3(4.3→)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○労働者を増やす	3.1 (3.0↑)	4.2 (4.2→)	市内事業所の従業者数	23,392人 (平成24年)	23,112人 (平成28年速報値)	-	25,000人	ひきこもり支援事業 H29～	-	12,000	-	9月25日現在の延相談件数 772件 9月25日現在の実相談者数 67人 ひきこもり支援等検討委員会 3回 ひきこもりサポーター定例ミーティング(月1回) ひきこもりサポーター養成講座 開設記念フォーラム	今後3～5年計画で居場所づくり、支援者の養成等を行っていく。センター設置後の相談件数急増をみると、みな相談できる場所、機関を探していると思われるので、支援センターの存在が広く浸透するようPRする必要がある。
○様々な働き方を応援する	3.1 (3.0↑)	4.1 (4.1→)	総社市・高梁市連携事業合同就職面接会参加者	-	-	-	250人	障がい者千人雇用の深化 H28～	19,909	21,059	H28年度末で千人雇用事業による就労者数980人。	H29.9.1現在 千五百人雇用 1,036人。H29.5に千人雇用事業の目標値1,000人を達成。	ライフステージを通じた支援を行うため、就学期、高齢期も含めた支援が課題。精神障がい者雇用のフォローが必要。A・B型事業所の増加及び工賃向上、雇用ニーズのマッチング
○障がい者の自立を応援	3.4 (3.2↑)	4.1 (4.1→)						生涯現役のまちづくり H28～	3,823	6,925	平成28年6月に高齢者雇用等に取り組む「総社市生涯現役促進協議会」を設置し、この協議会から厚生労働省「生涯現役促進地域連携事業」に事業構想を提案し採択され、平成28年10月1日から平成29年3月31日まで事業実施した。	平成29年4月3日から新たに3か年の事業採択を受け、働きたい・活躍したいと希望する高齢者に寄り添った支援に取り組む。	平成31年度までの委託事業であり、事業実施と平行してその成果を数値化するまでの集約が課題である。
○発達障がい者の自立を支援	3.2 (3.1↑)	4.1 (4.1→)											
○「ひきこもり」の状況にある人の自立を支援	3.0 (3.0→)	3.9 (3.9→)											
○若者の地元就職を推進	2.9 (3.0↓)	4.2 (4.3↓)											
○生涯現役を目指した高齢者を応援する	3.1	4.0											

【重点推進施策】 **農林業** **満足度 3.1(3.1→)** **重要度 3.9(4.0↓)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○地食べ事業を核とした儲かる農業の推進	3.2 (3.2→)	4.1 (4.2↓)	ふるさと納税による市内産米の消費量拡大	-	20,001俵 (H28年産米)	16,862俵 (H29.9.25現在)	20,000俵	岡山ハイブリッドメガ生産団地整備事業 H29～ 久代・黒尾・小寺地区	2,376	32,400	久代及び黒尾地区の概略設計書を作成	H29年度に久代地区の着工見込み。H30年度に黒尾地区の着工を目指し、地権者・地元等と協議中。	事業を進めるためには、地権者及び地元の協力が必要であるため、事業内容について細かな説明が必要である。
○優良農地の確保	3.1 (3.1→)	3.9 (4.0→)	営農組合の新たな組織化・法人化	-	0組織	2組織	3組織	担い手育成支援事業 H28～	8,233	11,593	就農相談会参加経費 46千円 新規就農総合支援事業 8,187千円	H29年度から担い手確保をする作物にナスとセロリを追加し、桃・ブドウと合わせ、4作物の担い手確保に力を入れている。	H29年度から追加した作物のうち、ナスについては2名の体験研修生を確保、今後実務研修、就農へと誘導する予定であるが、セロリについては未だ研修生の確保ができていない。就農希望者が魅力を感じるような経営モデルや支援を今後検討していく必要がある。
			学校給食における総社産野菜の利用率	36.9% (平成26年度)	31.90%	33.60%	40%	農地利用集積推進事業 H28～	2,309	2,862	農地流動化推進員報奨金 均等割 463千円 契約割 1,846千円	耕作放棄地の発生防止のため、農地中間管理機構とも連携しながら、農地の使用貸借権設定により、耕作者確保に努めている。	H28年度の契約件数は771件で、この件数は年々増加していくものと予測され、小規模農家が受皿となるには限界があり、大規模経営体の確保が急務である。

重要業績評価指数 (KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
荒廃農地の面積	63.8ha (平成26年度)	138.1ha	-	維持	有害鳥獣対策事業 H28～	6,039	7,818	報償費 一斉駆除期間 1,040千円 猟期 3,040千円 有害駆除委託料 1,260千円 防護柵設置補助金 655千円 狩猟免許取得費補助金 44千円	倉敷地区猟友会吉備分会へ有害鳥獣駆除委託をし、さらに捕獲報奨金により駆除促進に努めている。また、作物被害低減のため農業者が設置する防護柵設置を促進している。	イノシシの捕獲頭数は横ばいとなっているが、農作物被害は依然と大きい。またイノシシ以外にシカやサル、ヌートリアなど被害を与える有害鳥獣の多様化が進んでいるため、その対策も複雑化してきている。
					ふるさと納税関連事業 H28～	789,844	1,055,787	報償費 756,129千円 (米・ぶどう・桃などの返礼品)	総務省の通知を受け、返礼品の見直しを行いつつも更なる拡充を図っており、H28年度を上回る水準で推移している。	返礼率を見直しつつ返礼品の拡充を図るとともに、使途についてはより分かりやすいように細分化する。
					～H28 地産地消推進事業 そうじゃ地食べ公社地産地消推進事業	0	-	学校給食で使用する特別栽培米について、市が補助を行っていたが、H28から廃止。また、公社への補助も廃止した。	H29から上記「ふるさと納税関連事業」へ移行	-

【重点推進施策】 商工業・物流 満足度 3.4(3.3↑) 重要度 4.2(4.2→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数 (KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○市内企業・事業所との連携	3.2 (3.1↑)	3.9 (3.9→)	従業員数50名以上の企業誘致	-	0社	1社	3社	高梁市連携事業負担金(雇用促進) H28～	200	200	協議会会費として支出。協議会では、就労促進チラシを各市(各1,000部)を印刷。	H29年度事業について高梁市と協議中。	両市ともに人手不足であり、協定締結時にあった就労連携事業は難しい。事業提案するも、就労・雇用において2市だけで実施する事業は難航。予算繰越が危惧される。
○拠点整備を支援する	3.1 (3.1→)	4.0 (4.0→)	市内事業所数	2,052事業所 (平成24年)	2063事業所 (平成28年速報値)	-	2,100事業所以上	大規模工場等立地促進補助金 H28～H31 株式会社モンテール	42040	35,980	岡山指月は最終年、モンテールは5カ年交付の2年目である。	現在、モンテールは生産能力の60～70%の稼働率である。	モンテールは当初予定より遅れて、平成31年にフル稼働予定となっている。
								H28 企業立地促進奨励金 大黒天物産株式会社(中国物流RMセンター分)	96630	-	操業を開始し、奨励金の交付申請がなされたので、平成28年度に奨励金を交付した。	-	-
								そうじゃ商人(あきんど)応援事業補助金	1500	2,500	3件の事業者が空き家・空き店舗を活用して創業した。	H29年度は現在、6件の実績があり、補正予算で年間15件の助成ができるように予算措置をした。	空き家・空き店舗の把握と活用のマッチングと事業の周知啓発が必要である。

【基本目標 3】 だれもが学びたくなる総社 満足度 3.4(3.3↑) 重要度 4.2(4.3↓)

[年少人口(0~14歳)数] 当初値:約9,823人 ⇒ H28確定値: 人(H29現況値: 人) ⇒ H32目標値:10,000人超

【重点推進施策】 学校・幼児教育 満足度 3.4(3.4→) 重要度 4.4(4.5↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○「心」を重視した教育	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	地域の特色やニーズにあった特区の新設	1区 (平成27年度)	3区	3区	3区	学校一括交付金事業 H28~	43,300	43,300	小・中学校19校から申請のあった45事業に対して交付し、学校力向上を目指し各校の実態に応じた独自性や特色ある教育活動の推進を図った。	H29年度も交付済み	今後も引き続き特色ある教育につながるよう検証していく。
○だれもが行きたくなる学校づくり	3.1 (3.1→)	4.3 (4.3→)	不登校出現率(不登校の子どもの割合)	小学校0.43% 中学校1.97% (平成26年度)	小学校0.33% 中学校1.61% (平成27年度)	小学校0.38% 中学校1.63% (平成28年度)	小学校0.3%以下 中学校1.7%以下	総社小学校改築事業 H28~H31	—	6,020	H28.5からH29.7にかけて実施設計を行った。 契約額:60,577千円	工事発注の準備を進めているところであり、現在は入札公告中である。	工事契約までのスケジュール管理が大切である。
○特別な支援が必要な子どもたちを支援	3.2 (3.1↑)	4.2 (4.3↓)	昭和地区等英語教育特区への地区外から通園通学する児童生徒数(幼小中)	47人	81人	104人	100人	小学校 普通教室エアコン設置事業 H28~H29	135,513	148,284	9小学校68教室にエアコンを設置した。	1学期中に、5校74教室にエアコンを設置し、2年計画の事業は完了した。	総社小学校は改築工事のため、当初予定に入っていないが、工事期間中の設置を検討。
○特色ある学校づくり	3.2 (3.1↑)	4.0 (4.0→)						昭和地区等英語教育推進事業 H28~	43,723	47,126	英語特区(昭和・維新・山田地区)における幼小中一貫した英語教育の推進とそのPRをした。	教材を購入した。 英検に合格するなど成果を得られた。	英語学習が定着し、学力の向上を図る。
○世界へはばたく特区教育を	3.1 (3.2↓)	3.9 (3.9→)						だれもが行きたくなる学校づくり H28~	4,850	7,923	登校支援員7人を配置し、重点校について対処した。	登校支援員8人を配置し、特に支援を必要とする大規模校に複数配置して対処した。	多様な状態の児童・生徒について対応する。
								発達障がい支援事業「特別支援教育推進センター きらり」 H28~	3,472	14,867	特別支援教育推進センターの設置に向けて整備した。	児童46名、幼児16名通級、している。相談は9月14日現在で670件受けた。	支援を必要とする児童・生徒が増加している。
								学校力向上教員加配事業 H28~	128,809	135,832	学校力向上・学校適応などに取組むため各学校の課題に応じて教員を加配した。 特別支援教育講師 特別支援教育支援補助員 生徒指導員 別室登校指導員 等	年度当初から、各学校の課題に応じて講師等を配置した。 特別支援教育講師10名 特別支援教育支援補助員31名 生徒指導員1名 別室登校指導員3名 等	支援を必要とする児童・生徒が増加している。 実情に合わせた働き方ができるよう勤務条件を工夫する必要がある。
								給食調理場新設事業 H28~H31	66,017	305,009	設計業者を選定し、委託契約を締結した。起業地の用地取得と測量委託業務を行った。	造成工事実施の準備中。	H31.9の稼働に向けた準備を行う。
								H28 維新幼稚園耐震補強設計業務	4,806	—	耐震補強工事を行うための設計を行った。	— (H29において耐震工事を実施中)	—

【重点推進施策】 家庭教育 満足度 3.3(3.3→) 重要度 4.2(4.3↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○家庭教育	3.1 (3.0↑)	4.1 (4.3↓)	高校進学を希望するワンストップ受講者の進学率	—	100%	—	100%	生活困窮者自立支援事業 H28~ H29 小学4年生以上に対象拡大	29,477	32,600	参加申込人数 18名 うち、進学対象者 3名 高校進学者 3名	○中学生・高校生(H29.9.1現在) 23名(内、中3:12人)申込み 22名が利用 ○小学4年生以上(10名まで) 10月からの開催 対象区域(総社小・常盤小学区) 対象者へ申込案内中	○中学・高校生 講師となる大学生の参加人数が不安定 ○小学生 教室が中心部となるため、学区外の対象者へは参加付加
○学習を応援	3.1 (3.1→)	3.9 (3.9→)	学校運営協議会の設置数	—	0校	0校	7校以上						

【重点推進施策】

スポーツ・文化・生涯学習

満足度

3.4(3.3→)

重要度

4.0(4.1↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○スポーツを楽しむ	3.2 (3.2→)	3.9 (3.9→)	体育施設の利用者数(延べ)	520,000人 (平成26年度)	579,000人	278,276人 (H29.8月末)	600,000人	(仮称)常盤第2分館新築整備事業 H28~H30	77,789	123,058	用地を買収し,害虫駆除を行った。 設立準備委員会を組織し,地元協議を始めた。	分館の設計について,地元協議を進めた。 平成29年度中に,敷地の造成と排水路の整備を行い,建築工事等の契約を締結する。	地元への協議や周知を十分行い,円滑に工事を進めていく必要がある。
○貴重な文化財を守り,文化芸術を身近に	3.3 (3.3→)	3.9 (3.9→)	吉備路文化館の来場者数(延べ)	8,800人 (平成26年度)	7,718人 (H28年度実績)	2,685人 (H29.8月末)	10,000人	高梁川河川敷グラウンド拡張整備事業 H29~H31	-	145,025	高梁川出張所と協議を行い事業の実施内容とH29からの事業実施について了承いただいた。	高梁川出張所,都市計画課と協議を行いながら実施しており,現在進入路の設計を行っている。また,事業をH29.30での実施とした。	高梁川出張所と協議をしながら進めていく必要があるため,体協の競技団体と協議しながら早めに,市の方針を決めていく必要がある。
○生涯学ぶ	3.2 (3.2→)	3.8 (3.8→)						総社芸術祭実行委員会負担金 H28~	5,000	2,000	13事業を決定し,各種PR活動を行った。	【総社芸術祭】 第1回:H25.5.19~26 24事業 延べ25,000人来場 第2回:H27.4.19~5.6 13事業 延べ20,000人来場	参加団体の固定化が見られことから,斬新な企画などで,さらなる活性化を図る必要がある。
								市所蔵美術展開催事業 H28~	3,000	2,300	子ども美術館「誇りに思う人々」・「高木聖雨聖雨書展」・「総社ゆかりの作家展Ⅱ稲葉春生」を開催した。	総社吉備路文化館の利活用,学芸員の育成,収蔵品の活用,美術博物館の機運の醸成を目的に実施した。	総社吉備路文化館の周知や展示室の設備に課題がある。収蔵品の調査についても一層進める必要がある。
								くらしき作陽大学・総社市包括協定記念コンサート H29~	1,000	1,000	今回で2回目となる「第九」コンサートを開催した。入場者数855人	指揮者・ソリスト・作陽管弦楽団・作陽合唱団・市民合唱団で「第九」を開催した。	市民合唱団のレベルアップが必要である。
								一丁玖古墳群確認調査 H28~	2,078	2,581	一丁玖古墳15号墳の確認調査と現地説明会を実施した。	地元と協力しながら史跡としての整備活用を図っている。	地元と協力しながら古墳群全体の県指定に向け継続的に調査し,さらなる保存活用を図ること。
								総社市美術博物館基本計画・文化芸術会議 H28~ 文化芸術会議委員報酬・基金積み立て	40,048	20,307	基金の現在高40,007千円。平成28年度学芸員1人採用。文化芸術会議第1回目を開催。	文化芸術会議の第1回を開催した。	総社市の特性や地域性に合致した美術博物館整備に向けた答申をだす必要がある。
								平成28年度全国高校総体 卓球競技開催経費	42,781 (市負担分9,478)	-	全国から約1,000人の選手をむかえ5日間開催,延べ15,000人がアリーナに来場し,選手に熱い声援をおくった。	-	-

【基本目標 4】 だれもが訪れたい総社 満足度 3.2(3.2→) 重要度 4.1(4.2↓)

[滞在人口] 当初値:平日47,085人, 休日49,359人 ⇒ H28.4:平日47,483人, 休日49,210人(H29現況値:未公表) ⇒ H32目標値:48,000人, 休日50,000人

【重点推進施策】 観光 満足度 3.1(3.1→) 重要度 4.1(4.2↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○全国屈指のマラソン大会	3.7 (3.6↑)	3.8 (3.7↑)	観光客数	80万人 (平成26年度)	82万人 (平成27年度)	78万人 (平成28年度)	100万人	そうじゃ吉備路マラソン負担金 H28~	23000	34,330	平成28年度(2017大会)実施時のエントリー数20,834人は平成28年度全国第8位の規模(民間集計)	11月募集開始に向け準備中。定員を募るため、大会の魅力、おもてなしをアップし、かつ安全な大会の運営が求められる。	前回の出場者19,855を越える出場者を募るため、大会の魅力、おもてなしをアップし、かつ安全な大会の運営が求められる。
○観光用の2次交通整備	3.0 (2.9↑)	3.9 (4.0↓)	そうじゃ吉備路マラソン参加者の大会運営評価満足度	70.5点 (2015大会実績)	80.12点 (2016大会実績)	—	80点	総社観光プロジェクト提案事業の実施 H28~	14,880	14,450	県の大型観光キャンペーンと連携した事業を展開した。また赤米関連事業として、国分寺周辺でコンサートを実施した。	H28に引き続き赤米コンサートを実施予定。まちなみデザイン統一化事業にも取り組む。	総社観光プロジェクトからの24の提言のうち、実施可能なものを順次具現化する。
○さらなる観光客・訪問客の増加	3.0 (2.9↑)	3.8 (3.9↓)						高梁市との観光連携事業 H28~	600	600	高梁市が所有するボンネットバスを活用したツアーを実施した。 5/20 12名参加 11/19 13名参加	6/1に今年度1回目を実施。15名参加。 11月に2回目を実施予定。	参加者に満足していただける観光素材の提供を目指す。
								高梁川流域観光振興協議会負担金 H28~	790	790	観光プロモーション事業 19件選定 流域インバウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	観光プロモーション事業 20件選定 流域インバウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	高梁川流域の地域性を生かし体験型観光の醸成を図る。
								観光用二次交通整備 H28~	-	-	観光用二次交通整備に向け、運行方式や手段などについて検討、研究を図っている。	引き続き、観光用二次交通整備に向け、運行方式や手段などについて検討、研究を図っている。	観光面を踏まえううえで、運行方法や手段等について、民間事業者との調整を行う必要がある。

【重点推進施策】 都市・社会基盤 満足度 3.1(3.0↑) 重要度 4.0(4.1↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○岡山県立大学周辺を東の玄関口に	2.9 (2.8↑)	3.7 (3.7→)	県立大学生の総社市居住率	45% (H27.5現在)	48%	50%	55%	中央井手本線外1線改良事業 H28~	34,334	63,000	施工延長L=161m W=6.0(16.0)m	施工延長L=95.0m W=16.0m 施工中	交付金の配分が非常に厳しいため事業進捗に影響を及ぼしている。
			宅地面積	1,475ha (H27.4.1)	(H29都市計画基礎調査後に 数値確定)	1,505ha	(仮称)福井支線3467号道改良事業 H29~	-	27,000	-	実施延長L=510m W=6.0(9.75)m 現地測量・道路詳細設計実施中	R180バイパスとの平面交差について 国交省と計画協議中であるが、 バイパス機能を低下させるため事業計画 の見直しも視野に入れる必要がある。	
							刑部支線3283号道改良工事 H28~	-	6,500	-	実施延長L=380m W=6.0(9.75)m 現地測量・道路詳細設計実施中	終点付近となる県道(拡幅新設 予定)との接続計画、岡山路高架上、 側道交差など多岐に亘る協議が必要。	
							高松田中西阿曾線改良工事 H29~	-	30,000	-	実施延長L=300m W=7.0~9.5m 橋梁詳細N=1基 橋台詳細1式 道路 詳細設計 実施中	岡山市道のため協定の締結要。 R180との交差点協議が必要。	
							上原富原線改良事業 H29~	-	7,500	-	実施延長L=690m W=5.0m 現地測量・道路詳細設計実施中	路線計画時に影響を伴う建築物、水 路等関係者と十分な協議が必要。	
							立地適正化計画策定等調査事業 H28~	6,156	11,000	立地適正化計画策定等調査業 務を実施。計画策定に必要な データ収集、都市構造の課題抽 出、まちづくりの方向性の検討 等を行った。	都市機能誘導区域(案)居住誘導区 域(案)の検討、中心市街地活性化 施策の検討、地域拠点形成に向け た具体的手法の検討等を実施中。	今年度策定を目指しているが、区域 区分変更を見越した素案の作成にお いて、農政局等関係機関との協議が 難航する可能性がある。	
							刑部三須線整備事業 H28~	10,800	250,000	測量設計業務 L=350m, W=6.0m	補償物件調査業務はH28年度契約締結 済みで繰越明許により実施中。 用地交渉、家屋移転補償交渉中。今年 度中に一部買収予定。	地権者が多数であるため、用地交渉 及び家屋移転補償交渉が難航する 可能性がある。	
							真壁支線3156号道改良事業 H28~H30	5,757	19,000	測量設計業務 L=100.0m 交差点設計N=2箇所	用地買収、物件移転契約締結済。 今年度中に物件移転完了予定。	近接する溝口踏切拡幅事業に伴い、 交差点協議が必要となる。	

事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
トイレピカピカ大作戦 H28～	864	42,000	市成公園公衆便所改築工事設計業務実施済み。	昨年度の設計に基づいて、H29年10月以降工事実施予定。	都市公園のトイレについては、老朽化が著しく、今後も多額の更新費用が必要となる。

【重点推進施策】 **自然・環境** 満足度 3.4(3.4→) 重要度 4.2(4.2→)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○「赤米」を日本遺産登録へ	3.3 (3.2↑)	3.3 (3.3→)	日本遺産登録件数	0件	0件	0件	1件以上	エコハウス補助事業 H29～	-	4,000	-	住宅用太陽光発電システム設置補助金 52件 住宅用スマートエネルギー導入促進補助金	省エネルギー設備を備えた住宅の新築・改修等が増える中、十分な予算の確保が必要。
○豊かな自然を大切にす	3.2 (3.2→)	3.9 (3.9→)	環境教育・学習参加者数 (延べ)	214人 (平成26年度実績)	295人	125人	320人	北の吉備路やヒゴ池湿地などにおける自然保護活動 県立自然公園の景観整備・保全 環境教育の推進 H28～	4,504	4,910	除草や標識・看板等の維持・補修作業の実施。 自然保護観察会や自然学校等の実施(参加者数:295人)。	総社ふるさと自然のみちの遊歩道や見本園、ヒゴ池湿地、県有地(鬼ノ城・吉備路風土記の丘県立自然公園)内の除草・維持補修の実施 自然保護観察会を定期的な開催、自然学校、自然保護講演会などを実施し自然保護の啓発を図っている。	施設・自然環境に精通した委託先団体構成員の高齢化。

【基本目標 5】 **だれもが集いたくなる総社** **満足度 3.2(3.1↑)** **重要度 3.9(4.0↓)**

[総社市に愛着を感じている人の割合(アンケート)] 当初値:75.2% ⇒ H28確定値:74.1%(H29現況値:74.4%) ⇒ H32目標値:85%

【重点推進施策】 **市民参加** **満足度 3.2(3.2→)** **重要度 3.8(4.0↓)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値							H32目標値
○地域課題を解決し、独自性ある地域を創る	3.1 (3.1→)	3.7 (3.7→)	市民提案型事業への応募数件数	9件 (H26.27実績)	14件 (H27年度応募数)	20件 (H28年度応募数)	30件	-	1,002	-	平成29年度から2年間の活動。塾生18名。総社を知ることから始め、総社マイスターの輩出を目的とする。	塾生同士の交流の場の提供や、各課との連携による事業推進を図っていく必要がある。	
○女性が活躍する	3.1 (3.0↑)	3.8 (3.9↓)	多文化共生イベントへの来場者数	1,300人 (平成26年度実績)	1,050人 (28年度実績)	H29.10.7 実施予定	2,000人	78,878	76,845	防犯カメラ設置補助金 8,240千円 9協議会:30台設置	H27年度から市内の小学校区を基本として17地区で実施。	地域の自主的活動の促進が課題解決に役立っているが、常に地域のニーズを把握し、制度・事業の随時見直しや充実を図っていく必要がある。	
○外国人と共生する	3.1 (3.1→)	3.4 (3.5↓)	小児医療費決算額	2億5,232万円 (平成26年度決算)	2億6,484万円 (平成28年度決算)	1億2,838万円 (平成29.9末)	2億5,000万円 未済	2,000	4,000	申込14団体中、4団体を採択し、上限50万円の補助金を交付した。	平成29年度から予算を増額し、400万円で実施した。また、同一補助事業への補助金は、5回を限度とするに改正した。(改正前3回)	各種団体との協働を推進するため、制度・事業の随時見直し、広報等により周知を図っていく必要がある。	
○みんなで考え取り組む	3.3 (3.3→)	4.0 (4.1↓)	ごみ減量化推進団体資源回収量	1,509t (平成26年度)	1,320t	327t	1,800t	6,885	7,255	多文化共生推進員とともに外国人の生活支援や相談を実施(累計2018件)。また、外国人集住都市会議では、外国人の雇用・就労についての事業所向け調査を行った。	現在、外国人集住都市会議の全国大会担当ブロックであり、開催に向け、調整・調査結果の発表などの準備を行っている。	外国人の様々な生活分野での支援体制の確立が課題である。また、外国人の国籍・言語の多様化を受け、現状の把握に加え、現在母語対応できない言語圏の方について、対応方法を図る必要がある。	
								1,896	1,840	日本語教育事業 H28～	平成28年度日本語教室受講者数84人(ベトナム26人、中国26人、ブラジル13人...)。日本語学習サポーターも養成(受講者数17人)している。日常生活を念頭に地域防災や子育て事業なども取り入れている。	日本語教育には高い専門性を要し、外部関係者との連携が不可欠となっている。今年度は、外国人の雇用・就労について、事業所・就労者向け調査を行う予定である。また、毎年事業内容等の見直しを図り、実情に合わせて変更している。	外国人の実情を把握し、事業の見直しや充実を図る必要がある。現在は文化庁のモデル事業として実施しているが、補助がなくなったときの財源確保が課題である。
								10,567	13,200	ごみ減量化推進団体報奨金 H28～	登録団体数:112団体 資源ごみ回収量:1,320t	資源回収を行った団体に対して報奨金の支払いを実施(8円/kg)。	施策の周知並びに資源回収の実施団体の増加。
								886	1,081	EMぼかし配布 H28～	5,296世帯 15,888個	希望者に対して一世帯にひと月3袋まで配布。	EMボカシを用いた際の有用性並びに使用方法の周知。

【重点推進施策】 **広域連携** **満足度 3.2(3.1↑)** **重要度 3.9(4.0↓)**

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)				事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題	
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値							H32目標値
○広域で連携する	3.2 (3.1↑)	3.8 (3.8→)	市役所での大学生インターンシップ受入れ人数	31人 (H27度申込者数)	30人	49人	60人	200	200	【再掲】高梁市連携事業負担金(雇用促進) ※ 商工業・物流へ掲載	協議会会費として支出。協議会では、就労促進チラシを各市(各1,000部)を印刷。	H29年度事業について高梁市と協議中。	両市ともに人手不足であり、協定締結時にあった就労連携事業は難しい。事業提案するも、就労・雇用において2市だけで実施する事業は難航。予算繰越が危惧される。
○大学との連携	3.2 (3.2→)	3.7 (3.7→)	総社市・高梁市連携事業バスツアー参加者	40人/年 (H27度申込者数)	25人/年 (H28度申込者数)	15人/年 (H29度申込者数)	60人/年	600	600	【再掲】高梁市との観光連携事業 ※ 観光へ掲載	高梁市が所有するボンネットバスを活用したツアーを実施した。 5/20 12名参加 11/19 13名参加	6/1に今年度1回目を実施。15名参加。 11月に2回目を実施予定。	参加者に満足していただける観光素材の提供を目指す。
○地元金融機関との連携	3.2 (3.1↑)	3.6 (3.6→)						790	790	【再掲】高梁川流域観光振興協議会負担金 ※ 観光へ掲載	観光プロモーション事業 19件選定 流域インパウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	観光プロモーション事業 20件選定 流域インパウンド推進事業 (台湾のメディアの招聘事業)	高梁川流域の地域性を生かし体験型観光の醸成を図る。

【重点推進施策】

市役所

満足度

3.1(3.0↑)

重要度

3.9(4.0↓)

(単位:千円)

基本構想	市民アンケート結果		重要業績評価指数(KPI)					事業名	H28決算額	H29予算額	H28の実績	現状	課題
	満足度	重要度	項目	当初値	H28確定値	H29現況値	H32目標値						
○行財政改革	3.0 (3.0→)	4.1 (4.0↑)	個人番号カードの普及(累計)	-	8.05%	8.60%	70%(5年累計)	総合計画等評価・検証事業 H28~	287	525	H28.10.26総合計画審議会を開催し、審議結果等を基に、改訂版を作成。	平成29年6月議会において、平成28年度決算審査を行い、H29.10.3開催の総合計画審議会において評価・検証等を行う。	総合計画に基づく実施計画による事業実施と予算との連携を図っていく必要がある。
○ファンリティマネジメントの実施	3.1 (3.0↑)	3.8 (3.8→)	市債の借入額	-	普通会計ベース 98.8%	普通会計ベース 96.5%	5年間平均(当初予算)で元金償還額の95%以下に抑制	昭和福祉センター解体工事 H29	-	49,000	-	8月24日解体工事入札、業者決定、12月末に竣工予定。	美袋駅前全体の整備、地域住民の利便性向上、地域活動の活性化につながる。解体後の跡地の有効利用が課題。
○職員の意識改革	2.9 (2.9→)	4.2 (4.2→)						市営住宅整備事業 H28~ バリアフリー化 H29 ガス供給施設の改修(三輪)、給水施設の改修(井尻野)	22,304	8,685	井尻野住宅外壁・屋上改修工事 浅尾住宅屋根塗装改修工事 天原住宅解体撤去工事	総社市公営住宅等長寿命化計画に基づき計画的に実施中。	定期点検を行い、計画的に修繕を行っていくことが結果として施設の長寿命化や経費の縮減につながる。
								地方公営企業法適用化に向けた整備 H29~H31 公共下水道・農業集落排水	0	23,000	-	H29~H31までの債務負担行為により、平成29年度においては、固定資産調査・評価業務について、業務委託を行い、平成32年度施行に向けてすすめている。	平成30年度以降、システム開発や例規の整備なども行うなかで、固定資産調査・評価とも関連づけながら取り組んでいく必要がある。
								~H28 一般廃棄物処分場 水処理施設等建設工事	711,492	-	埋立処分場(埋立容量114,000m ³) 浸出水処理施設(浸出水処理能力60m ³ /日)	-	-